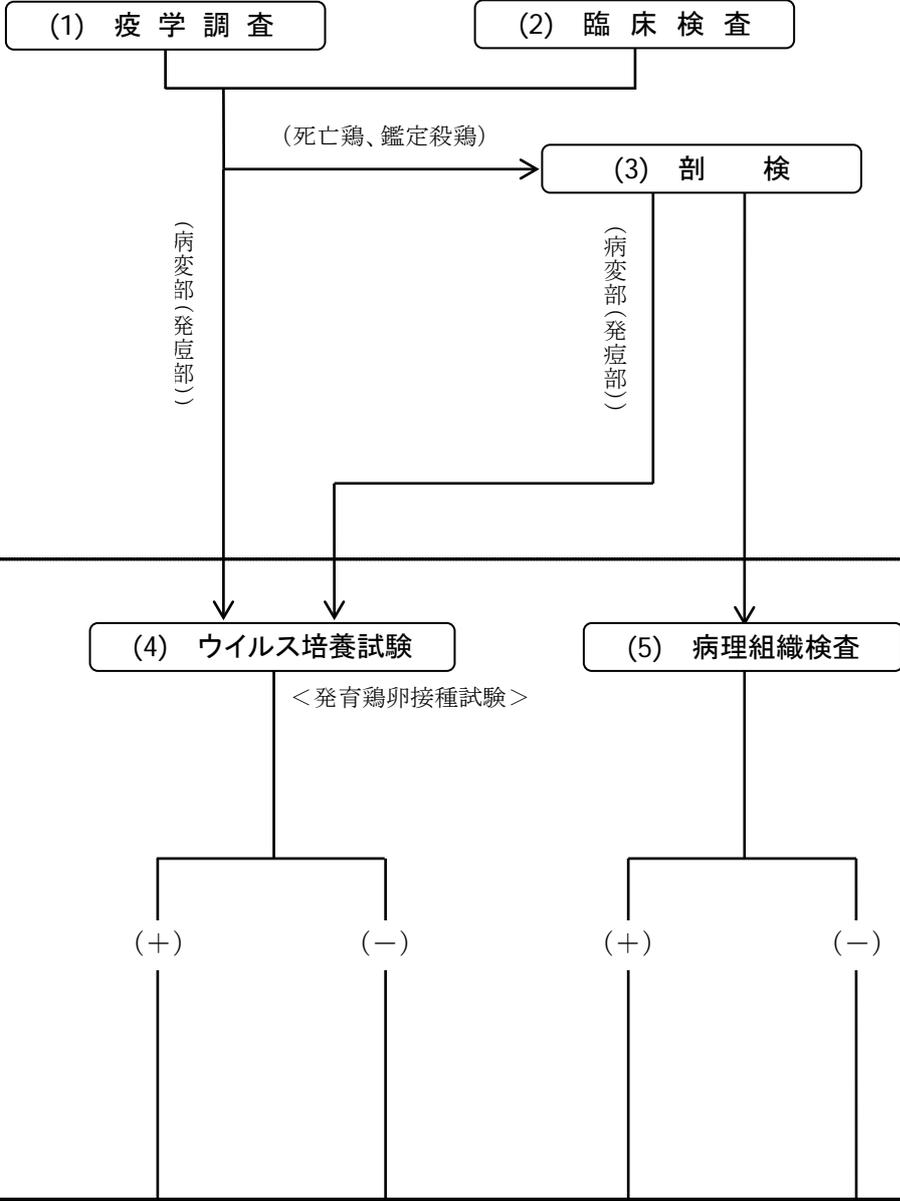


113 鶏 痘 [届]

担当	検 査 チ ャ ー ト
家畜保健衛生所	 <pre> graph TD     A["(1) 疫学調査"] --&gt; B["(2) 臨床検査"]     A -- "(病変部(発痘部))" --&gt; D["(4) ウイルス培養試験"]     B -- "(死亡鶏、鑑定殺鶏)" --&gt; C["(3) 剖検"]     C -- "(病変部(発痘部))" --&gt; E["(5) 病理組織検査"]     D -- "(発育鶏卵接種試験)" --&gt; E     D --&gt; F["(+)" ]     D --&gt; G["(-)" ]     E --&gt; H["(+)" ]     E --&gt; I["(-)" ]     F --&gt; J["(+)" ]     G --&gt; K["(-)" ]     H --&gt; L["(+)" ]     I --&gt; M["(-)" ]     </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p>(+)                      (-)                      (+)                      (-)</p>
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に、ウイルス培養試験、病理組織検査の結果により総合的に判断する。
その他	

→類似疾病検査

- ① 116 伝染性喉頭気管炎
- ② 120 鶏マイコプラズマ病
- ③ 127 伝染性コリーザ
- ④ 114 マレック病(皮膚型)

○ 病原体:鶏痘ウイルス;Fowlpox virus [*Fowlpox virus*, *Avipoxvirus*, *Poxviridae*]

(1) 疫学調査

- ① 日齢を問わずに発生
- ② 単発または散発が多い。
- ③ 伝播は比較的遅い。
- ④ 皮膚型は夏から秋に多発傾向
- ⑤ 外部寄生虫によっても伝播する。

(2) 臨床検査

- ① 発痘、痂皮の形成
- ② 乾性の開口呼吸
- ③ 一般症状の悪化
- ④ 結膜炎、流涙、ときに失明
- ⑤ 顔面腫脹、鼻汁漏出

(3) 剖 検

- ① 口腔、喉頭、気管および鼻腔等の粘膜に発痘
- ② 鼻腔、鼻涙管、眼窩下洞に滲出物

(4) ウイルス培養試験(発育鶏卵接種試験)

材料:病変部(発痘部)

方法:9~11日齢発育鶏卵の漿尿膜上に接種(5日間培養)

判定:膜上の変化、細胞質内封入体の確認

(5) 病理組織検査

発痘部の上皮細胞の増殖と細胞質内封入体(ボリンゲル小体)の形成

(参考文献)

・鶏病研究会編:鳥の病気.